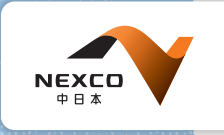


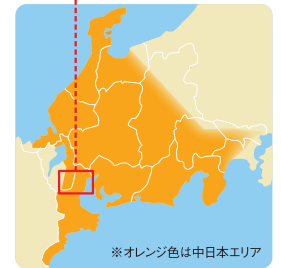
新名神



自然と
人をつなぐ
道づくり



これからも「生物多様性に配慮した取り組み」を
続けていきます



※オレンジ色は中日本エリア

中日本高速道路株式会社
名古屋市中区錦 2-18-19
三井住友銀行名古屋ビル 〒460-0003
TEL:052-222-1620
<http://www.c-nexco.co.jp>



新名神高速道路は、二〇一九年三月に新四日市ジャンクション(JCT)と亀山西JCTが開通し、静岡県から滋賀県まで、新東名および新名神と東名および名神のダブルネットワークが形成され、大幅な渋滞緩和や観光振興等へ寄与することが期待されます。

この区間は自然豊かな地域を通過するため、建設にあたり生物多様性に配慮した様々な取組みを行ってきました。その取組みの一部を紹介いたします。

1 シデコブシの保全

準絶滅危惧種のシデコブシは日本の固有種で、東海三県(三重・岐阜・愛知)の限られた地域のみ分布し、丘陵地や湿地にしか自生しておらず、三重県では絶滅危惧種、県指定希少野生動物植物種に指定され、県内の一部地域は国の天然記念物に指定されています。

建設工事前の調査で、建設地内にシデコブシが確認されたため、工事の影響を受けない場所へ移植しました。また、個体数を増やす目的で、挿し木により育てた苗木も補植しています。

現在は、移植先で多くの萌芽を確認しており、移植個体は良好に生育しています。



移植作業



シデコブシ

2 希少植物の移植

建設工事前の調査で、建設地内に自生のオオミズゴケ、キンラン、ナガエミクリ等の希少植物が確認されました。特に、準絶滅危惧種のオオミズゴケは、日本



オオミズゴケの移植作業



オオミズゴケ

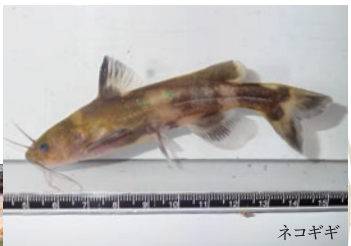


ナガエミクリ

全国に分布しているものの、園芸用としての乱獲等により数が減少し、三重県では絶滅危惧種、県指定希少野生動物植物種に指定されています。これらは工事の影響を受けない場所へ移植し、現在、移植先で概ね良好な生育を確認しています。

3 ネコギギの保全

絶滅危惧種のネコギギは日本の固有種で、伊勢湾と三河湾に流入する河川に限定し分布しています。人為的影響を強く受けて生息域が著しく減少している種で、三重県でも絶滅危惧種に指定されているほか、国の天然記念物にも指定されています。建設工事前の調査で、路線の近隣の河川にてネコギギの生息が確認されたため、工



ネコギギ

事は事業用地外への濁水の流出を減らすよう工夫し、良好な河川の水質を維持してきました。

また、他の魚類や水生昆虫等にも配慮して、近隣の河川には隙間のあ

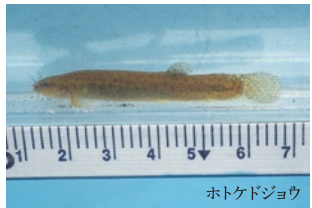
るブロックを設置するなど、多様な河川環境を生み出すよう工夫しました。工事前から現在まで、近隣の河川においてネコギギの安定的な生息を確認しています。



濁水を処理する沈砂池を設置

4 ホトケドジョウの保全

ホトケドジョウは、湧水のあるきれいな小川や、池の砂や泥が溜まった水草のあるところに生息する種で、各地で生息数が減少していることから、絶滅危惧種に指定されています。



ホトケドジョウ

建設工事前の調査で、建設地内の河川にてホトケドジョウの生息が確認されました。このため、路線近隣の水路をホトケドジョウの生息に適する環境に整備し、改変に伴う影響が予想される時期に捕獲した個体を移植しました。移植先の水路は、自然素材を利用して整備し、水路内に土のうを置くことで水の流れに変化を付ける等の工夫をしました。移植後もホトケドジョウの安定的な生息を確認しています。

5 ヒメタイコウチの移植

ヒメタイコウチは、泳ぐことも飛ぶこともできない水生昆虫で、湧水のある水際の落葉の下等、水深のほとんどない湿地に潜んで生活しています。このようなごく限られた環境でしか生活できないことから、三重県では絶滅危惧種、県指定希少野生動物植物種、桑名市の天然記念物にも指定されています。



ヒメタイコウチ

建設工事前の調査で、建設地内の湿地にてヒメタイコウチの生息を確認しました。このため、工事の影響を受けない場所に新たに生息地を創出し、工事前に捕獲した個体を移植しました。現在、移植先においてヒメタイコウチの安定的な生息を確認しています。